

平成17年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成17年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成18年7月6日(木)に霧島いわさきホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者37名、委託関係者11名ほか、計58名の参集を得て、除草剤19薬剤(67点)、生育

調節剤8薬剤(19点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成17年度 秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 (S)-2-アミノ-4-[ヒド'ロ キシ(対'ル)オスフィノイル]ブ タン酸ナトリウム塩 10.5% [明治製薬]	タマネギ	適用性 継続	和歌山農試 (1)	[一年生雑草] ・定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・全面茎葉処理 対) B'スタ液剤 300mL<100>	実	実) [秋播栽培; 一年生雑草] ・定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 300~500mL<100~150L>/10a 全面茎葉処理 ・生育期 雑草生育期 300~500mL<100~150L>/10a 畦間茎葉処理 注) 雑草の草丈30cm以下で散布す る。作物に飛散しないように散布 する
2. AK-01液 グリホサートイソP'ロビ'ルアミ ン塩 41% [TAC普及会]	タマネギ	適用性 新規	植調研究所 和歌山暖地 島根農技 佐賀白石 (4)	[一年生雑草] ・耕起または定植7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・250mL<25, 50> 500mL<25> ・全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし 250mL<50>	継	継) 効果、葉害の確認
3. BCH-050707アル エトフメート 50% [ハ'イエル クロップサイエ ンス]	タマネギ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・定植後 雑草発生始期 ・75, 100, 150mL<80> ・全面茎葉処理 対) G'-G'-サ'乳剤 300mL<100>	—	
		適用性 新規	長野野菜花き試 和歌山農試 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・定植後 雑草発生始期 ・75, 100, 150mL<80> ・全面茎葉処理 対) G'-G'-サ'乳剤 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
4. MRS-195液 ク'リホサートイソフ'ロビ'ルアミ ン塩 41% [ニューファム]	タネネ'	適用性 継続	植調研究所 和歌山暖地 兵庫淡路 島根農技 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<50, 100>, 500mL<50, 100> ・ 全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし 500mL<100>	実	実) [秋播栽培; 一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 250~500mL<50~100L>/10a 全面茎葉処理
5. NC-622液 ク'リホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	タネネ'	適用性 新規	香川農試 南九州大学 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植5日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<50, 100>, 500mL<50> ・ 全面茎葉処理 対) ラウンドアップ 液剤 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
		適用性 新規	香川農試 南九州大学 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 200mL<50, 100>, 500mL<50> ・ 畦間茎葉処理 対) ラウンドアップ 液剤 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
6. NH-00770ア'ブル ヒ'ラフルフェニエチル 0.16%, ク'リホサートイソフ' ロビ'ルアミン塩 30% [日本農業]	ハウサイ	適用性 継続	植調研究所 三重科学技術セ 兵庫農技セ 奈良農技 鹿児島大隅 (5)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 400, 500, 600mL<100> ・ 全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし ・ 500mL<100>	実	実) [一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 400~600mL<100L>/10a 全面茎葉処理
7. SYJ-100乳 ア'ロシホカルブ 800g/L [シンジエンタ'ジャパン]	タネネ'	適用性 継続	兵庫淡路 島根農技 佐賀白石 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 400, 500mL<100> ・ 全面土壌処理 対) ゴ'ーゴ'ーサン乳剤 300mL<100>	実	実) [秋播栽培; 一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 400~500mL<100L>/10a 全面土壌処理
		適用性 新規	兵庫淡路 佐賀白石 (2)	[一年生雑草] ・ 春期 雑草発生前~始期 (定 植後土壌処理剤との体系処 理) ・ 400, 500mL<100> ・ 全面土壌処理 対) ゴ'ーゴ'ーサン乳剤 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
8. SYJ-171液 ハ'ラコートシ'クロリト' 100g/L [シンジエンタ'ジャパン]	キャベツ	適用性 新規	兵庫農技セ 福岡農総試 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 全面茎葉処理 対) プリグ'ロックス液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-171液 [委託者]		適用性 新規	兵庫農技 福岡農総試 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ブ'ロックス	適用性 新規	和歌山農試 香川農試 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ハクサイ	適用性 新規	植調研究所 奈良農技 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 全面茎葉処理 対) ブリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
		適用性 新規	植調研究所 奈良農技 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	レタス	適用性 新規	福岡農総試 長崎総農試 (2)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ホレンソウ	適用性 新規	奈良農技 広島農技 大分野茶宇佐 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
9. ZK-122液 グリネートカリウム塩 43% [シンジェンタ ジャパン]	タマネギ	適用性 継続	植調研究所 兵庫淡路 和歌山農試 佐賀白石 (4)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 250mL<25, 50>, 500mL<25, 50> ・ 畦間茎葉処理 対) ランドアップ ハイロード 液剤 250mL<50>	実	実) [秋播栽培; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 250~500mL<25~50L>/10a 畦間茎葉処理 注) 雑草の草丈30cm以下で散布す る。作物に飛散しないように散布す る。専用ノズルを使用する。

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
10. トリフルラン乳 トリフルラン 44.5% [ダウ・ケミカル日本]	アロココ ー	適用性 新規	徳島農技 熊本農研セ (2)	[一年生雑草 (ツユクサ科、カタクリ科、 科、科、アブラナ科を除く)] ・定植前 雑草発生前 ・200, 300mL<100> ・全面土壌処理 対) アブラマックス水和剤 定植後 300g<100>	継	継) 効果、葉害の確認
11. トリフルラン粒 トリフルラン 2.5% [ダウ・ケミカル日本]	ニンニク	適用性 継続	青森畑園試 (1)	[一年生雑草 (ツユクサ科、カタクリ科、 科、科、アブラナ科を除く)] ・植付前マルチ前 雑草発生前 ・5kg ・土壌処理 対) ゴーゴーサン細粒剤	実	実) [一年生雑草 (アブラナ科、科、カタ クリ科、ツユクサを除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 5kg/10a 土壌処理 ・植付後、春期中耕後 5kg/10a 全面土壌処理
	アロココ ー	適用性 新規	徳島農技 熊本農研セ (2)	[一年生雑草 (ツユクサ科、カタクリ科、 科、科、アブラナ科を除く)] ・定植前 雑草発生前 ・4.6kg ・全面土壌処理 対) アブラマックス水和剤 定植後 300g<100>	継	継) 効果、葉害の確認
12. ANK-553細粒 ベンディメタリン 2.0% [BASFアグロ]	ニンニク	適用性 新規	青森畑園試 (1) (自主)	[一年生雑草 (ツユクサ科、科を除 く)] ・植付前マルチ前 雑草発生前 ・4.6kg 全面土壌処理	実	実) [一年生雑草 (科、ツユクサを除 く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 4~6kg/10a 土壌処理 ・植付後 萌芽前 雑草発生前 4~6kg/10a 全面土壌処理

B. 平成17年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. AH-01液 (S)-2-アミノ-4-[ヒドロ キシ(メチル)オスフィノール]ア ブチン酸ナトリウム塩 10.5% [明治製菓]	メロン	適用性 継続	定植前 高知農技 (1)	定植前 [一年生雑草] ・定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・300mL<100, 150>, 500mL<100> ・全面茎葉処理 対) ハースタ液剤 300mL<100>	実	実) [一年生雑草] ・定植前 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 300~500mL<100~150L>/10a 全面茎葉処理 ・生育期 雑草生育期 300~500mL<100~150L>/10a 畦間茎葉処理 注) 雑草の草丈 30cm 以下で散布す る。作物に飛散しないように散布 する。

B. 平成17年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AH-01液		適用性 継続	畦間処理 高知農技 (1)	畦間処理 [一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 300mL<100, 150>, 500mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) バスタ液剤 300mL<100>		
2. BAS-656乳 ジメチアトールp 720g/L [BASFアグロ]	ブロッコリー	適用性 新規	鳥取園試 (1)	[一年生雑草 (タデ、アザ、アブラ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 50, 75, 100mL<100> ・ 全面土壌処理 対) ファルトスター乳剤 100mL<100>	継	前回の判定どおり
3. MON-96A液 クアリネートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	レタス	適用性 継続	兵庫淡路 (1)	[一年生雑草] ・ 定植7日以前 雑草生育期 ・ 500mL<25, 50, 100> ・ 全面茎葉処理	実	前回の判定どおり
4. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ホレンソウ	適用性 新規	福岡農総試 (1)	[一年生雑草] ・ 耕起または播種5日前 雑草生育期 ・ 200mL<50, 100>, 500mL<50> ・ 全面茎葉処理 対) ラウンドアップ液剤 250mL<50>	継	前回の判定どおり
5. SYJ-171液 ハクコートシクロリトール 100g/L [シジエンタージャパン]	ブロッコリー	適用性 新規	鳥取園試 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグロックL液剤 600mL<100>	継	前回の判定どおり
	レタス	適用性 新規	兵庫淡路 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150>, 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) ブリグロックL液剤 600mL<100>	継	効果、葉害の確認

B. 平成17年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
[委託者] SYJ-171液	ホレンソウ	適用性 新規	福岡農総試 (1)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 畦間茎葉処理 対) プリグ ロックスL液剤 600mL<100>	継	前回の判定どおり

C. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. NSH-1液 シイタケ菌糸体抽出物 1% [野田食菌工業]	ニンニク	適用性 継続	<青森畑園試> <香川農試> (2)	[品質向上 (肥大促進)] ・ 鱗片分化期から鱗片肥大初期 の間 7日おき3回散布 ・ 300倍×3回<100> 500倍×3回<100> ・ 葉面散布 対) サンキャッチ液剤 300倍 1回散布	継	継) 効果の確認
2. AKD-8151 (L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% [アグロカネショウ]	メロン	適用性 継続	千葉暖地園研 静岡農試 (2)	[果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生期 →横ネット発生期 2回処理 ・ 1000倍→1000倍 2000倍→2000倍 <100~200mL/株> ・ 株散布	実	実) [果実肥大促進及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生期及び横ネット発生期 各1回 1000~2000倍 <100~200mL/株> 株散布

D. 平成17年度春夏作分 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-8151 (L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% [アグロカネショウ]	メロン	適用性 継続	熊本農研セ 宮崎総農試 (2)	[果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生期 →横ネット発生期 2回処理 ・ 500倍→500倍 1000倍→1000倍 2000倍→2000倍 <100~200mL/株> ・ 株散布	実 ・ 継	実) [果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生期及び横ネット発生期 各1回 2000倍<100~200mL/株> 株散布 継) 1000倍処理での効果、葉害の確認
2. T-2000S粒 FPT-9601 10 ⁷ cfu/g [多木化学]	ナス	作用性 新規	兵庫淡路 (1)	[育苗期の伸長抑制] ・ 播種時 ・ 200, 400, 600mL/200穴トレイ ・ 覆土として使用	—	

D. 平成17年度春夏作分 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
[委託者] 3. IKS-6液 インドール酢酸 1% 6-アミノフルアルリン (カイネチン) 0.1% [横山生化学研究所]	トマト	適用性 新規	熊本農研セ(1)	[発根促進、果実肥大促進] ・ 育苗期→定植後 2週間間隔 ①10000~15000倍<1000> 灌注処理 ②5000~10000倍<200> 葉面散布	継	(継) 効果、葉害の確認
4. YIAA液 インドール酢酸 1% [横山生化学研究所]	トマト	適用性 新規	熊本農研セ(1)	[発根促進、果実肥大促進] ・ 育苗期→定植後 2週間間隔 ①10000~15000倍<1000> 灌注処理 ②5000~10000倍<200> 葉面散布	継	(継) 効果、葉害の確認

E. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. DNK-01液 シアナミド 13% [電気化学工業]	サクラ	適用性 継続	青森フラワーセンター 山形農総研 埼玉深谷 鳥取園試 (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (促成開始前) ・ 30倍 ・ ①全面散布②切り枝浸漬 対) CX10 20倍	実	(実) [休眠打破による発芽促進] ・ 休眠覚醒期 (促成開始直前) 30倍 切り枝全面散布 (十分量) 又は切り枝全体を浸漬 (15分以内)
	レンギョウ	適用性 新規	埼玉深谷 長野野菜花き試 埼玉深谷 (H16自主) (2+1)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (促成開始前) ・ 15倍 ・ ①全面散布②切り枝浸漬 (H16自主) ・ 休眠期 (促成開始前) ・ 1% (13倍)、2% (6.5倍)、3% (4.3倍)、5% (2.6倍) ・ 全面散布	継	(継) 効果、葉害の確認

F. 平成17年度春夏作分 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. ダミジッド® 水溶 ダミジッド® 80% [日本曹達]	キク (切 花)	適用性 新規	山口農試 鹿児島農試 (2)	[花首伸長抑制] ・ 発蕾期 1回処理 1000倍, 1500倍 茎葉処理 ・ 発蕾期→摘蕾期 2回処理 1000倍→1000倍, 1500倍→1500倍 茎葉処理	継	前回の判定どおり
	ジャクガ	適用性 新規	福岡果樹苗木 (1)	[矮化効果及び花芽着生数増加] ・ 新梢伸長完了期を1回目とし て1ヶ月間隔で計3回処理 ・ 50倍→50倍→50倍 100倍→100倍→100倍 <100mL/5号鉢> 茎葉処理	継	前回の判定どおり

